

ぼくがみんなに
つたえたいこと

しん き とも ゆき
新木 友行

アトリエ インカーブ / アーティスト

もくじ

- 1 こんにちは しん き とも ゆき 新木友行です
- 7 こんな じゆ ぎよう 授業をしました
- 8 アーティストってこんなことをするよ
- 10 さくひん 作品をみてみよう
- 12 やってみよう! じ ゆう 自由なアート
- 14 できあがった さくひん 作品を はっぴよう 発表!
- 16 じゆぎよう 授業の かんそう 感想をありがとう

- 19 こんな え 絵をかいています
- 20 ぼくの さくひん 作品を しょうかい 紹介するよ
- 30 ここがアトリエだよ

- せん せい 先生 き たちに き 聞いてみました
- 32 みなみ こう じ 南 晃二 こうちようせんせい 校長先生
- 34 まい はる か 舞 美佳 せんせい 先生
- 36 おおしま のぼる 大島 昇 さん さん

- 39 **みんなへ**
- 40 この ほん 本が り ゆう できた理由



こんにちは しん き とも ゆき 新木友行です

ぼくは、え 絵をかくことが す 好きです。

し えん がっ こう 支援学校を そつぎよう 卒業したあと

アーティストになりました。

え 絵をかいたり、じ ゆう 自由にもものをつくる ひと 人を

アーティストとよびます。

みなさんは、いま 今どんなことが す 好きですか？

しょうらい 将来の ゆめ 夢はなんですか？



ぼくの色で パワーをおくりたい

ぼくは、プロレスやボクシングの大ファン。

ある日、大好きなプロレスラーの筋肉を
大好きな色でぬってみました。

そこから世界がおおきく変わっていったのです。

「たたかう人」をかきつづけて20年。

今では、いろんなスポーツをかくようになり、
きづけば作品の数は500枚をこえました。

「ぼくの色でみんなにパワーをおくって、元気になってほしい」
と願い、色をぬっています。

この本の表紙の絵は、『Mix No.2』という作品です。

国や性別、障がいのある人もない人も関係なく、
それぞれのハードルをこえていく姿をかきました。



おも で
思い出にのこっているのは、

とうきょう こうしき
「東京2020オリンピック・パラリンピック公式アートポスター」に

せ かいじゅう さく ひん なか さく ひん ひだりしゃ しん
世界中の作品の中からぼくの作品がえらばれたこと(左写真)。

ナンバーセブン くま
『オフense No.7』という、車いすバスケットボールをかいた作品です。

せん しゅ あ ひょうげん
選手のはげしいぶつかり合いを表現しました。

さく ひん つう き も つた かん
作品を通じて気持ちが伝わっているように感じるとき、

アーティストになって良かったなとおもいます。

いま まいにち え
今は毎日絵をかいていますが、

むかし え きょう み
じつは、昔は絵をかくことに興味がありませんでした。

じ ぶん ひょうげん たの し
アーティストになったのは「自分を表現する楽しさ」を知ったから。

ひ かん
あの日ぼくが感じたように

じ ぶん ひょうげん たの かん おも
「自分を表現する楽しさ」を感じてほしいと思い、

おおさか ぶりつすみの え し えんがっこう じゅぎょう
大阪府立住之江支援学校で授業をしました。

じゅぎょう
授業がはじまるよ!



こんな授業をしました

2021年6月、大阪府立住之江支援学校で授業をしました。

参加してくれたのは高等部3年生のみんな。

みんなで
ドキドキしたよ!

授業の流れ

1



アーティストって
こんなことを
するよ

2



作品を
みてみよう

3



やってみよう!
自由なアート

4



できあがった
作品を発表!

QRコードをよみとると、動画で授業の様子がみられるよ!



こんな授業をしました

アーティストって こんなことをするよ

ぼくが、アーティストとしてどんなことを
しているのか、みんなにお話ししました。



1 作品を制作する

毎日アトリエに通い、
絵をかいています。
集中できる、自分だけの
制作スペースがあります。



何を
つかって
かいているの？



色えんぴつと黒いペンをつかって
かいているよ！
好きな色は赤。たたかう人の
熱い思いが伝わる気がします。

2 作品を発表する

完成した作品は美術館などで発表しています。
最近では、ウェブサイトやSNS (Instagram や Facebook) で
作品を公開することも増えました。

これまで
どんなところで発表
してきたの？



2008年 サントリーミュージアム[天保山](大阪)



2009年 高梁市成羽美術館(岡山)



2019年 ギャラリーインカーブ | 京都

3 作品を販売する

作品を展示したり、販売するイベント
「アートフェア」に参加しているよ。
日本だけではなく、海外のアートフェアにも
作品を出しています。



2021年 アートフェア東京2021

これまでに
何枚の作品が販売
されたの？

100枚以上です！ ぼくの作品を集めてくれる人もいます。

作品をみてみよう

たい いく かん さいく ひん
体育館にぼくの作品を
てん じ
展示しました。

みんなといっしょに
さいく ひん
作品をみたよ。

きも
どんな気持ちで
かいたの？

マスクをかぶり、
わざ
技をきめるプロレスラーの
はくりよく つた
迫力が伝わるように
いろ
色をたくさんつけて
かきました。

おお さいく ひん
大きな作品
ですね！



さいく ひん よこ なが
作品の横の長さは、
しん ちよう おな
おとなの身長と同じくらい
あります！

さいく ひん めい ぎやく ほう がた
作品名：逆方エビ固め
2007年 ペン、色えんぴつ、かみ
紙
86×178 センチメートル



こんな授業をしました

やってみよう! 自由なアート

好きな道具や色をつかってみんなで絵をかきました。



モチーフ

かみのけ
こまかいな~

ぼくのこだわりのひとつ!
からだ
体をかきペンとはちがう細いペンで
ぼん ぼん
1本1本かいているよ。



どうして手が
あか
赤いの?

ぼくがぬりたいと思う色で
ぬっているよ!
じつぶつ
実物とちがう色でもいいんだ。
それが、アート!

ぼくはこんなふうにかいたよ!



つかい慣れた道具をもってきてくれた人もいました。

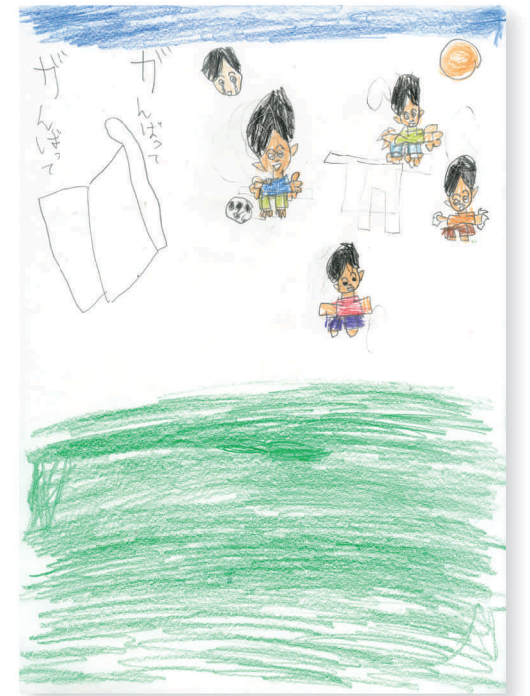
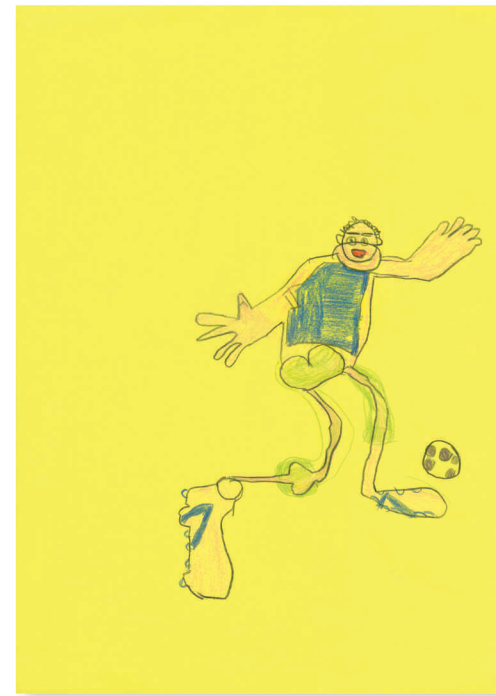


みんなとても集中してかいてくれたよ。



できあがった作品を発表!

ぼくの感想も紹介するよ。



選手がこちらを向いていて
楽しそうですね!

オリジナルで選手の数を5人に
増やしたんですね! ほんものの
試合をみてるみたい。

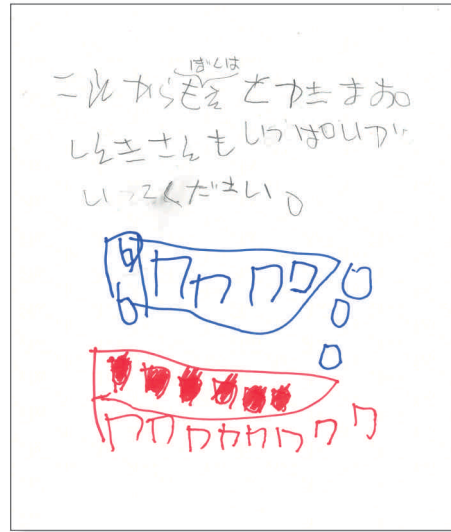
選手の顔が迫力満点!
ボールから「気」のような
ものが出ていますね~。

サッカーの躍動感が
伝わってきます!

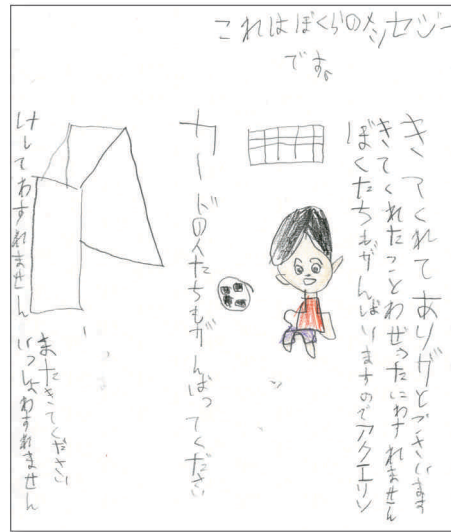
ぼくが気になった作品について
みんなとお話しました。



新木友行(自画像)

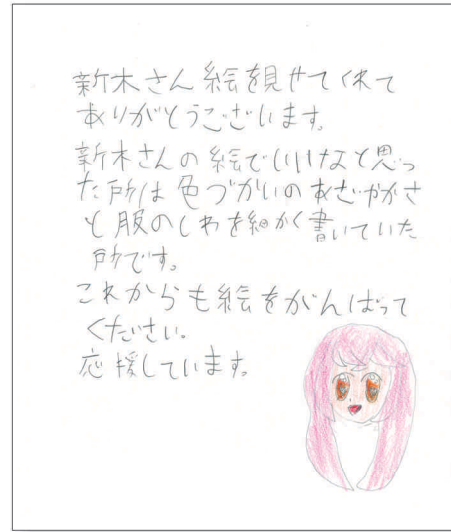


ぼくもこれからまだまだ
たくさんかいていきます!



わすれないと言ってくれてうれしい。
ぼくもわすれませ。

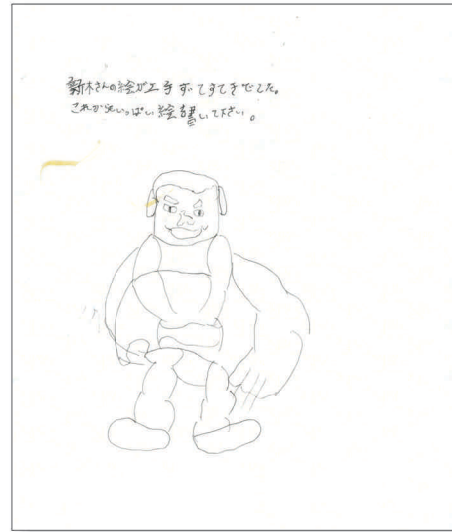
授業の感想をありがとう



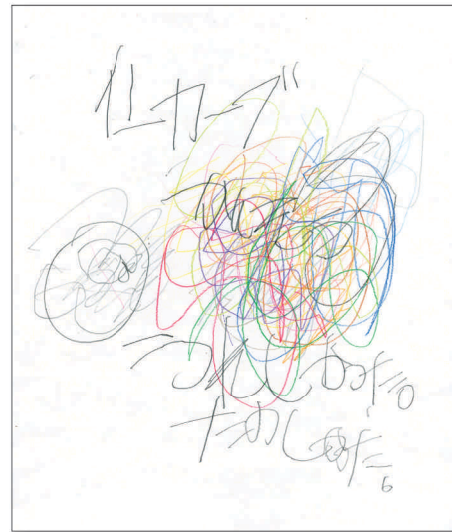
作品のこまかいところまで
みてくれてありがとう!



絵で表現してくれたんだね。
糸がかさなって素敵です。



力強い絵をありがとう!
筋肉がかっこいいですね。



左にあるのはボールかな?
パワーが飛び出しているみたい!



目がキリッとしていてかっこいい
動物をかいてくれたんだね。



英語をしゃべりながら
サッカーしてるように見える!

みんなの気持ちが届きました

みんなといっしょに絵をか^えくことができ
とても楽し^{たの}かったです。

ぼくは住之江支援^{すみのえしえんがっこう}学校で授業^{じゅぎょう}をしたことを
一生^{いっしょう}わすれません。

これからも思いのままに絵をか^えいてほしいです。
「自分^{じぶん}がたいせつにしたいこと」が
みつかるかもしれないから。

授業^{じゅぎょう}に参加^{さんか}してくれた高等部^{こうとうぶ}3年生^{ねんせい}のみんな
ビデオ中継^{ちゅうけい}でお話^{ななし}を聞^きいてくれた他学年^{たがくねん}のみんな
授業^{じゅぎょう}のために協力^{きょうりょく}してくださった先生^{せんせい}方^{がた}
本当^{ほんとう}にありがとうございました。

こんな絵^えをかいています

ここからは、ぼくがこれまでかいてきた作品^{さくひん}たちや
発表^{はっぴょう}してきた展覧会^{てんらんかい}を紹介^{しょうかい}します。



こんな絵をかいています

ぼくの作品を 紹介するよ



プロレスの技「ドロップキック」を
きめている作品です!

こんな大きな作品をかいたのは初めて。



ドロップキック
2020年
ペン、色えんぴつ/キャンバス
162×259センチメートル



え
絵をかきはじめてたころの作品です。
さく ひん
コンピュータをつかってかいていたよ。



がた
わき固め
ねん
2005年
コンピュータ・グラフィックス

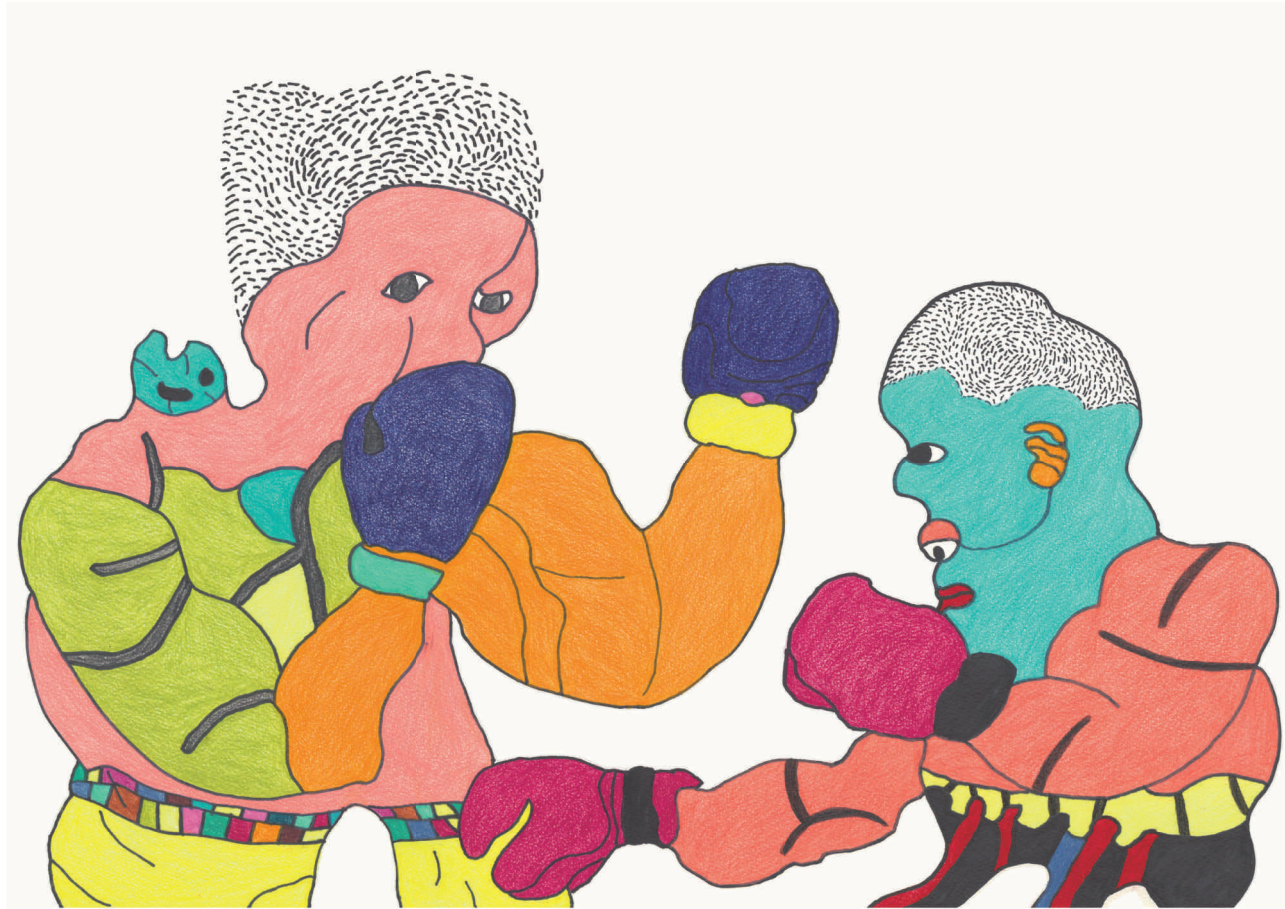
ローリング・ソバット
ねん
2005年
コンピュータ・グラフィックス



ゲレーロススペシャル 2016年 ねん ペン、色えんぴつ／紙 86×177センチメートル

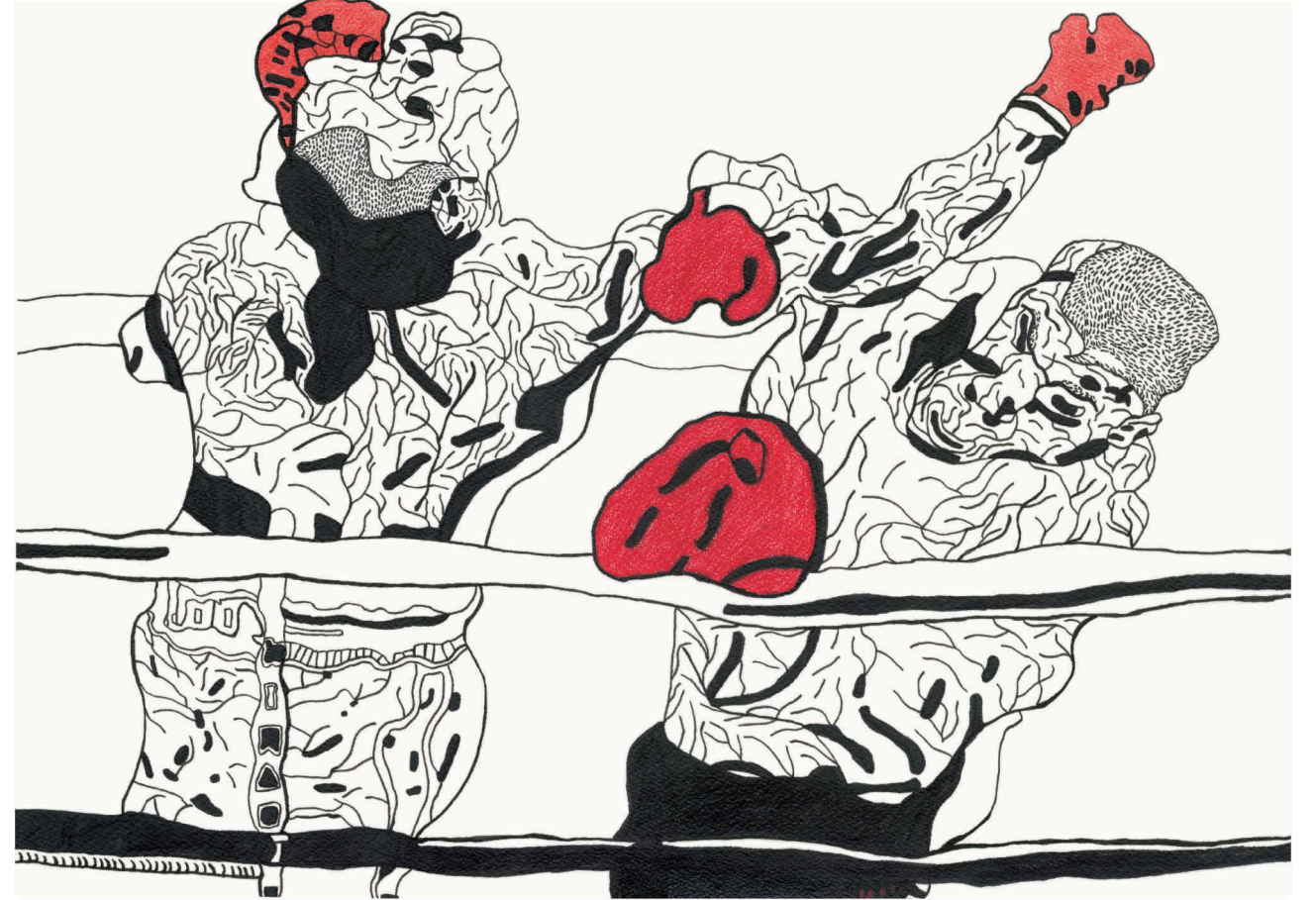
この作品は、アメリカのニューヨークで発表されました。
はっ びょう
たくさんの人に届けることができ、うれしかったです。





右ボディストレート 2006年 ペン、色えんぴつ／紙 42×59センチメートル

ボクシングも好きです。
 たたかいへのぞむ熱い思いがこもった
 「目」からかきはじめました。



スマッシュ 2010年 ペン、色えんぴつ／紙 42×59センチメートル



「東京オペラシティ アートギャラリー」という
 美術館で展示されました。
 作品を通じて新しい人と出会えることが、
 ぼくの喜びです。



はし 走り幅跳び 2020年 ペン、色えんぴつ／紙 73×103センチメートル



はし 走り高跳び 2020年 ペン、色えんぴつ／紙 86×178センチメートル

パラリンピックとオリンピックの選手が
 いっしょにスポーツをしています。
 こんな風景をみられたらうれしいと思い、
 イメージをふくらませてかきました。

本の表紙にえらばれたよ!





りゅう ひざげ
龍・ヘビ・ジャンプ・膝蹴り 2021年 ペン、色えんぴつ／キャンバス 146×227センチメートル



ダブルドロップキック 2021Ⅱ
2021年 ペン、色えんぴつ／紙
52×73センチメートル

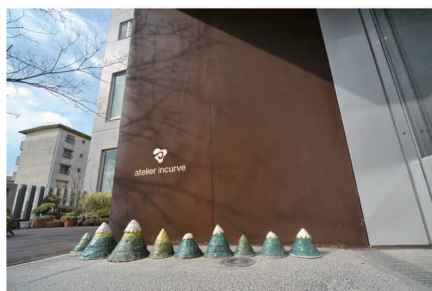
りゅう
龍が2ひき、ヘビが1ひき。
どこにいるかわかるかな？



こんな絵をかいています

ここがアトリエだよ

ぼくが毎日絵をかいているのは、「アトリエ インカーブ」というところ。大阪市の平野区にあります。3階建ての明るくて広い建物のなかで、アーティストたちが絵をかいたり、ものづくりをしています。スタッフは、「学芸員」というアートの専門資格をもっていて、作品をていねいに扱ってくれるのがうれしいです。



キューアール
QRコードをよみとると、
動画でアトリエ インカーブの様子がみられるよ！
ウェブサイトもチェックしてみてね。



アトリエ インカーブの スタッフに聞いてみました



アトリエ インカーブには、30人のアーティストが通っています。
アーティストの共通点は2つ。

1つ目は、ものづくりが大好きだということ。スケッチブックにオリジナルのキャラクターをかく人や、自分の体より大きな立体の作品をつくる人、少しずつ色をぬり5年くらいかけて作品を完成させる人。それぞれのペースで、思いのままにもものづくりをしています。



2つ目は、障がいがあるということです。アーティストの多くは支援学校に通っていました。みなさん、日常生活の困りごとをかかえています。たとえば、自分の気持ちを言葉で伝えるにできなかったり、計算や暗記が苦手だったり。でも、アトリエ インカーブでは、それぞれが絵をかいたりものづくりをする才能を活かして、「アーティスト」として活動しています。新木さんのように世界で活躍する人もいますよ。



南 晃二 校長先生

おおさか ぶりつ すみの え し えん がっ こう
(大阪府立住之江支援学校)

授業の感想を聞かせてください。

授業前に、新木さんが来ることを伝えると、生徒たちは「オリンピック・パラリンピックのポスターをかいたすごい人に会える!」と、みんなワクワクしていました。いざ新木さんにお会いすると、とても緊張していましたね。まわりに「アーティスト」とよばれる人がいないからでしょう。生徒たちは、とても集中してワークショップに参加していました。できあがった作品に対する新木さんのコメントが心に残っています。新木さんご自身が絵をかく方だからこそ「みんなとちがうユニークなところ」や「がんばってかいたところ」をみぬかれていたと思います。生徒たちの表情がパッと明るくなったのを見て、「私たちはこれまで、生徒たちの表現を大人の目線でほめていたのかもしれない」と、ふり返りました。

支援学校における「美術の授業の役割」について、どのように感じておられますか?

これは障がいの有無は関係ないのかもしれませんが、学年があがるにつれ「絵をみる力」は

高まるけれど、「表現する力」は追いつきにくいように感じます。自分の思いどおりに絵がかけないと、少しずつ「自分は絵をかくことが苦手なんだ」と思うようになってしまうことがあります。とくに、障がいのある生徒は、友だちとくらべて自分の絵を幼く感じたり、友だちに「何それ?」と言われて、自信をなくしてしまうことも多いのではないのでしょうか。支援学校の美術の授業では、「のびのびとかいていいんだよ」「あなたの表現は素晴らしいよ」ということを生徒たちに感じてもらい、自分の表現に自信をもってもらうことが大事な役割だと考えています。

支援学校を卒業した後の進路として創作活動を選ぶ方はいらっしゃいますか?

私を知るなかでは創作活動をお仕事にしている方は存じあげません。レストラン・カフェといった飲食関係や服・雑貨を売るなど、人と接する仕事を好むことが多いです。日常生活でよく目にする職業なのでイメージしやすいのでしょうか。

生徒の将来の可能性を広げるために、支援学校にはどんな役割がありますか?

生徒たちが新しいことに取りくむ姿をみて、「この子はこれが好きなんだな」と、そばにいる先生や保護者が気づくことができれば、その子の「好きなこと」を活かした将来につなげていくことができると思います。そのためには、学校生活の中で自分の好きなことをみつけたり、今回の新木さんの授業のように、生徒たちが新しい経験をできる機会をつくりたいですね。



舞美佳先生

大阪府立住之江支援学校 美術の先生

授業の感想を聞かせてください。

世界を舞台に活躍する新木さんの色鮮やかな作品を直にみることで、生徒にとってはもちろん、教員にとっても、刺激的な体験になりました。これまで、ピカソやゴッホといった歴史上のアーティストを美術の授業で紹介することはありましたが、実際にアーティストとして活動している方とお会いするのは初めてのことでした。新木さんのアーティストとしての姿は、生徒たちにとって将来への希望を感じるきっかけになったのではないのでしょうか。とくに、ワークショップでは、とても楽しそうに絵をかいていました。自分の絵に自信をもっているように感じる良い表情をしていたことが心に残っています。

いつもどのような美術の授業をされているのですか？

オリジナルの生き物をかいたり、手形をかさねた色彩構成のようなことをしたり、点描をしたりとさまざまです。同じ学年でも、生徒によって必要な支援の形が変わりますので、それ

ぞれに課題や画材を考えていますね。支援学校の美術教員になって10年以上になりますが、初めのうちは支援しすぎていたかもしれません。「この生徒はどれくらいできるだろうか」「この画材はつかえるだろうか」と考えすぎて、こちらがほとんどつくったようなものを準備してしまったこともありました。いまは生徒のもっている力を活かした授業になるよう心がけています。

美術の授業が好きな生徒さんはいますか？

絵をかくことが好きな生徒は多いです。「あれがしてみたい」「これしてみたい」と、自分から聞いてくる子は、ものづくりが好きなんだなと感じますね。こちらからの課題や決まりを設定していても、そこからはみ出すような表現が出てくると「素敵だな」と思います。

ものづくりが好きな生徒さんは、卒業後どんな道に進めますか？

創作活動をお仕事として活かすのは、なかなか難しいように思います。なぜなら、自分の作品を売ったお金で食べていくというのは、障がいのあるなしに関わらず簡単なことではないです。そのため、こちらから積極的にすすめるのは難しいと感じたりもします。だけど、ものづくりが好きな子が、新木さんのようにアーティストになればとても素敵だと思います。本人が望むのであれば、できるかぎり応援したい。ものづくりが好きな子が通えるインカーブのような場所が増え、生徒たちの将来が広がることを願っています。



恩師・大島 昇さん

(元支援学校の先生・FBM研究会)

支援学校の教員として新木さんと出会い、卒業後もみまもって
くれている大島さんに、新木さんの学生時代のことを聞いてみました！

新木さんとの出会いをおしえてください。

出会いはプールの授業です。私が大阪教育大学附属特別支援学校の教員をしていたとき、新木くんが入学してきました。当時は体も小さく、気管切開をしていたため、私は養護・訓練担当としていっしょにプールに入りました。新木くんをリラックスさせるために冗談をいっているうちに、おたがいうちとけていきましたね。気管に水が入らないよう、あお向けになった新木くんの頭と首をささえて体をゆらしたりしました。すごく喜び、笑顔で私にだきつきキスをしてくれたことが忘れられないです。

※1 気管切開：自力では呼吸がしづらいため、のど(気管)に穴をあけること ※2 養護・訓練担当：ハンディの重い方や、家族指導を必要とする生徒の指導やケアにあたる役職

印象に残っていることはありますか？

美術の授業でかいた「ギター」の作品が印象に残っています。新木くんは、実物とまったくちがう形や色のギターをかきました。「こんな風にかけるんや！」と、とてもおどろき、感動し

ました。卒業後の進路先をさがしていたとき、美術の授業でみた「ギター」の作品が頭にか
び、アトリエ インカーブに相談しました。

卒業後も交流があり、新木さんの作風に影響をあたえたとうかがっています。

はい。新木くんが興味をもちそうなことがあれば連絡をとっていました。格闘技が好き
なことを知っていたので、私が体調管理のためボクシングジムに通いはじめたことを伝えたり
しました。10年くらい前の話です。彼は何度もジムに練習をみに来てくれました。世界タイトル
マッチもいっしょにみに行き、とてもうれしそうにしていましたね。当時、新木くんの関心は
プロレスが中心だったけど、少しずつボクシングを作品にとりいれるようになったと感じて
います。有名なボクサーとのつながりもできました。だれとでも仲良くなれるところや、人の
気持ちを考えることができるのは、まねできない新木くんの素敵なところだと思っています。

今回の授業の感想を聞かせてください。

将来の可能性を広げるために、人との出会いはとてもたいせつです。新木くんの授業は、支援
学校の生徒たちが外の世界を知り、興味を広げるきっかけになったと感じます。また、「ア
ートっ て楽しいな」と、まっすぐに感じることもできたのではないのでしょうか。先生方にとっ
ても、新しい目で美術教育をとらえなおし、前向きにチャレンジできるエネルギーと勇気を
えたことと思います。この経験をこれからの日々の実践に活かしていただけることを大いに期待
しています。



みんなへ

これから社会^{しゃかい}にでたら、わからないことや
緊張^{きんちよう}することがあるかもしれません。

ときには、失敗^{しっぱい}することもあるでしょう。

ぼくも、今日^{きょう}までたくさん失敗^{しっぱい}してきました。

思う^{おも}ように作品^{さくひん}がかけなかったこともあります。

それでも、なんまいも、なんまいも、かいてきました。

絵^えをかくことが、好き^すだから。

みんなにも、好き^すなことをみつけてほしい^{おも}と思います。

そして、自分^{じぶん}の夢^{ゆめ}を思いえがいてみてほしい^{おも}です。

ぼくのように、想像^{そうぞう}していなかった未来^{みらい}が

まっているかもしれないから。

新木 支行

この本ができた理由

新木友行さんは、支援学校で学生時代をすごしました。卒業後、アーティストになり、
今では世界を舞台に活躍しています。好きなことを活かして社会とつながる新木さ
んの存在を知ってもらうことで、将来の選択肢が広がることを願い、大阪府立住之
江支援学校で授業をおこないました。そして、他の支援学校の方々にも、授業の内
容を知ってもらいたいという気持ちから、この本はうまれました。アーティストとし
てプライドをもって生きる新木さんの姿が、みなさんの希望になれば、これ以上の
喜びはありません。この本が、学校を卒業し、社会に飛び立つみなさんにとって、
自分自身の「これから」を考えるきっかけになることを願っています。最後に、本事業
の実現にあたり、たくさんのご協力をいただいた大阪府立住之江支援学校の教員の
みなさま・大島昇さまに心より御礼申し上げます。

アトリエ インカーブ

ことば・作品：新木友行(アトリエ インカーブ)
インタビュー：南晃二(大阪府立住之江支援学校)
舞美佳(大阪府立住之江支援学校)
大島昇(FBM研究会)

編集：片岡學・脇阪明日香(アトリエ インカーブ)
装丁・デザイン：八木良治(有限会社八木デザイン)
撮影：左海和可子・東亨(アトリエ インカーブ)
印刷・製本：株式会社グラフィック

発行日：2022年3月1日

発行者：アトリエ インカーブ

発行所：ビブリオ インカーブ

©2022 atelier incurve

社会福祉法人 素王会 アトリエ インカーブ
〒547-0023 大阪市平野区瓜破南 1-1-18
電話番号 06-6707-0165
FAX 06-0707-0175
メール info@incurve.jp
ホームページ http://incurve.jp

表紙作品：Mix No.2

2021年 ペン、色えんぴつ/紙
30×158 センチメートル

本書に掲載の作品サイズは小数点以下を四捨五入して表記しています。
本書の無断転写・複製・引用を禁じます。



本事業は、文化庁「令和3年度障害者等による文化芸術活動推進事業
(文化芸術による共生社会の推進を含む)」の委託事業としておこなわれました。